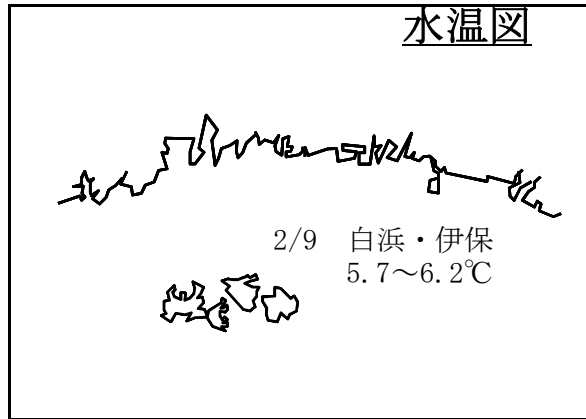


兵庫県のみ漁場環境情報 (西播海域 12号)

平成30年 2月 9日発行
 兵庫のみ研究所

地先漁場は、陸水等の影響があった一部を除き栄養塩の低い状況が続いています。沖合漁場では窒素は2~3 $\mu\text{g at / L}$ と概ね前回(1/26)調査並の値で推移しています。地先漁場では一部、ユーカンピアの発生が確認されています。今のところ大きな増殖や沖合漁場への拡散は見られませんが、栄養塩を大量に消費する珪藻であることから、その動向が注視されます。

(**栄養塩、珪藻**) 地先において室津漁場以西及び伊保・白浜漁場で、ユーカンピア(海水1mlあたり110~140細胞)が確認され、小型のキートセロスも前回調査と比較し減少したものの散見される。岩見、網干漁場ではユーカンピアは散見される程度と少なく、それ以外の珪藻はほとんど確認されない。沖合漁場では前回調査同様、珪藻がほとんど確認されず窒素は2~3 $\mu\text{g at / L}$ であった。



		前回値	今回値	平年値	昨年値
西播地先	窒素	0.7	2.1	1.1	0.8
	リン	0.30	0.27	0.21	0.16
家島・坊勢	窒素	2.3	3.0	1.6	0.5
	リン	0.50	0.46	0.35	0.13

(1/26)

(2/8)

栄養塩 (窒素) 図

平成30年 2月 9日調査

